

群馬県精神保健福祉士会 教育研修委員会 2023 年度 第 6 回会議議事録

- ・日時：2024 年 1 月 30 日(火)19:00～21:00
- ・会場：オンライン形式(ZOOM ミーティング)
- ・参加者：小淵恵造(ロカール)、小島廉(アルカディア)、小林拓人(つつじメンタルホスピタル)、坂本里緒菜(大島病院)、佐藤晶彦(田中病院)、関口茜(大島病院)、福永晋太郎(ケン・クリニック) 藤田佳貴(群馬病院)、三井田茉唯(ケンクリニック)、高橋恭子(ハローワーク) 特別参加⇒白鳥浩丈 先生(高崎健康福祉大学)、鈴木秀夫 先生(群馬医療福祉大学) 三野宏治 先生(東京福祉大学)、浅見泰亮 先生(高崎福祉医療カレッジ) 伊藤弘子 先生(群馬社会福祉専門学校)

◆協議事項

(1)2023 年度第 3 回研修会について

- ・日時：2024 年 2 月 25 日(日) 13:30～16:00
- ・会場：前橋市総合福祉会館 第 3 会議室(前橋市日吉町 2-17-10)
- ・テーマ：「実習指導(後進育成)」
- ・タイトル：『シン・令和の実習指導
～変わりゆく時代の中で、実習指導はどう変わるべき、変わらざるべきか～』
- ・講師：白鳥浩丈 先生(高崎健康福祉大学)
鈴木秀夫 先生(群馬医療福祉大学)
三野宏治 先生(東京福祉大学)
浅見泰亮 先生(高崎福祉医療カレッジ)
伊藤弘子 先生(群馬社会福祉専門学校)
- ・対象者：当会会員、学生
- ・参加費：無料
- ・内容：基調講演、シンポジウム、グループワーク等

◎タイムスケジュール

11:00 委員集合/会場準備 11:30 講師集合/ランチミーティング 13:00 開場/受付
13:30 開会 13:30～13:40 委員長挨拶及び注意事項等説明
13:40～14:10 基調講演(20～30分)
14:10～14:15 シンポジスト自己紹介(5分)
14:15～15:00 各学校実習担当者シンポジウム(45分)
15:00～15:10 休憩(10分)
15:10～15:50 グループワーク(40分)
15:50～16:00 全体シェアリング(10分)
16:00 アンケート案内および事務連絡等、閉会
(※あくまでも目安であるため柔軟に運営していく。)

◎参考(実習に関する事前調査)⇒前回(2023年12月21日(木)開催第5回会議)議事録参照。

- ・2023年12月22日(金)福岡県士会 実習指導委員会企画「実習トーク(第4話)」(オンライン開催)
⇒福永さんが参加。

グループごとに意見交換。実習記録と実習振り返りのタイミングについての関心が高かった。
実習記録は実習中に書いていいのか、記録の書き方など学生のレベルによって起こる問題等。

◎プログラム

<基調講演(20分～30分)> (演者：白鳥浩丈先生)

昔と今の実習の違いについて。養成校側・実習指導者側どちらの経験があるからこそ、双方の立場からの視点でと考えている。

シンポジウムへの話題提供・足がかりになるようなイメージの内容をできればと考えている。

概ね20～30分程度で講演。基調講演を20分程におさめてシンポジウムの時間を増やすかという案も。

<シンポジウム(45分)> (コーディネーター：福永さん)

- ・福永さんがシンポジウムで話すテーマのスライドを作成する。
- ・成り行きによってはシンポジストやシンポジストからも話をふってもらい、参加者と相互的な関わりを得られるようにする。
- ・事前調査の結果は配布しないが、シンポジウムの話題提供として用いるか検討。

○白鳥浩丈先生

実習では学生にリアルな体験をしてほしい。精神保健福祉士が感じているジレンマや支援の醍醐味・思考過程を言語化して伝えて、学生が興味を持ち、それが精神保健福祉士になるきっかけになればと思う。実習が学生にとって良い体験になるよう、深まるようなシンポジウムになればと思う。

○鈴木秀夫先生

事前調査の内容をシンポジウムの話におり込みながら、話せればと思う。

○三野宏治先生

元実習生に「自身が実習生だった時にどんな実習だったら面白かったか」を聞いてみたい。

○浅見泰亮先生

学生自身の個性や意欲など、未経験の分野を学ぶ姿勢が学生に備わっていないと感ずることがある。精神保健福祉士という資格の重みを感じている一方で、どれだけ学生に共有できるかが実習の大切なテーマだと感ずている。

○伊藤弘子先生

学生と社会人との対応の難しさの違いについて。

実習指導者が実習生を受け入れることのモチベーション、後進育成についてどう感ずているのか。

実習生を受け入れることが学びになるという相乗効果感ずてもらえること、指導者自身の成長につながる関わりになると、養成校としてはありがたいと思う。協働すること前提で実習を案内していきたい。

<グループワーク(40分)>

(ファシリテーター：教育研修委員、発表者はグループ内で選任)(グループ分け：小林さん)

(各養成校の先生方にもグループの中に入って頂く)

- ・5～6人のグループを想定。
- ・テーマ：受講しての感想、自分の実践についてふりかえり等。

◎運営関係

- ・役割分担：進行役/小島さん、アンケート作成/小林さん、会場設営・受付等/委員全員で適宜行う。
- ・広報：福永さんにチラシを作成して頂き、1月上旬に会員および各所へ発送済み。

当会ホームページ、Facebook、Twitter には公開済み。

メーリングリストによる広報は坂本より行う。

※実習指導に携わる県内の会員にはぜひご参加いただけるよう個別にも案内していく。

- ・ 申込：Google フォームから受付管理を行う。（作成した QR コードをチラシへ貼付）
受付期日は2月22日(木)まで。
- ・ 備品：パソコン、プロジェクター、スクリーンは県土会の備品を使用する。
マイクは確認し、なければ大島病院のものを持参する。
基調講演資料を配布するかは今後検討。
次第は佐藤さんが作成予定。
昼食は委員人数分・講師分を準備する。
- ・ 謝礼金：一律 3000 円
（浅見先生は業務内で参加されるため、謝礼金はご辞退されるとのこと。）
講師の方々へ 1000 円程度の菓子折りを佐藤さんが準備予定。
- ・ 会場レイアウト：会場・参加人数によって検討する。
- ・ 研修会の撮影：講師の方々にはご了承頂く。当日冒頭案内で参加者には当日の冒頭案内で承諾を頂く。

(2) 次回委員会会議および交流会について

集合形式の交流会を3月頃予定。日程調整は後日 LINE グループにて実施。

(3) その他(連絡事項等)

- ・ 2月9日(金) 当会第5回定例会「群馬病院における児童思春期病棟について」(オンライン開催)
- ・ 2月10日(土) 倫理委員会主催 第1回ワークショップ研修会(前橋市総合福祉会館 第2回会議室)
「ジレンマをどう乗り越えるか?～やりたいソーシャルワークをやるために～」
- ・ 2月23日(金) ぐんま・つなごうネット「プリズン・サークル」(群馬県社会福祉総合センター8階大ホール)

(文責：坂本)